

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	べと病	灰色かび病	褐斑病	黒とう病	苦腐病	晩腐病	さび病	芽枯病	白紋羽病	つる割病	うどんこ病	白腐病	枝膨病	すす点病	ゆめ促進
エコショット顆水	生物農薬	BM2		1	-		◎									◎				
ポトキラー水	生物農薬	BM2	*i	-	-	◎														
I Cボルドー66DFL	無機	M1	-	-	◎					◎	◎									
Zボルドー水	無機	M1	-	-	◎		◎				◎									
クプロシールドFL	無機	M1	-	-	◎															
コサイド3000DF	無機	M1	-	-	◎							◎								
フルピカFL	AP	9	30	2		◎										◎				
インダーFL	DM I	3	30	3		◎	◎	◎								◎				
オーシャイン水	DM I	3	7 30	2		◎		◎								◎				
オーシャインFL	DM I	3	7	2		◎	◎	◎								◎				
オンリーワンFL	DM I	3	1	3		◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎		◎	
トリフミン水	DM I	3	7	3				◎								◎				
マネージDF	DM I	3	21	3				◎			◎					◎				
アミスター10FL	Q o I	11	30	3	◎	◎	◎	◎		◎	◎							◎		
スクレアFL	Q o I	11	1	3				◎		◎						◎				
ストロビーDF	Q o I	11	14	3	◎	◎	◎	◎		◎	◎					◎		◎		
ファンタジスタ顆水	Q o I	11	14	3		◎		◎		◎	◎									
フリントFL25	Q o I	11	*d	1				◎		◎										
アフエットFL	アミド	7	7	3		◎	◎	◎		◎	◎					◎				
オルフィンFL	アミド	7	14	3		◎														
カンタスDF	アミド	7	7	3		大													大	
バシタック水75	アミド	7	45	1							◎									
パスワード顆水	アミド	17	14	2		◎											◎			
ピクシオDF	アミド	17	1	3		◎														
フルーツセイバーFL	アミド	7	7	3		◎	◎	◎		◎	◎					◎				
レーバスFL	アミド	40	7	3	◎															
ポリオキシンAL水	抗生物質	19	60	5		◎														
ポリオキシンAL溶	抗生物質	19	60	5		◎		◎								◎				
ロブラール水	ジカボキイミド	2	*h	3		◎		◎									◎			
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1	45	1		◎	◎	◎	◎	◎		◎				◎				
トップジンMペースト	ベンゾイミダゾール	1	*L *b	3						◎					◎					◎
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1	45 *d	3 1		◎	◎	◎		◎		◎			◎			◎		

ブドウ

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒性	使用 時期 (回数)	使用 回数	べ と	灰 色 か び	褐 斑 病	黒 と う 病	苦 腐 病	晩 腐 病	さ び 病	芽 枯 病	白 紋 羽 病	つ る 割 病	う ど ん こ 病	白 腐 病	枝 膨 病	す 点 病	ゆ 合 促 進
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		45	2	◎		◎	◎	◎	◎									
チオノックFL	有機硫黄	M3		60	2	◎	◎	◎	◎	◎										
トレノックスFL	有機硫黄	M3		60	2	◎	◎	◎	◎	◎										
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		45	2	◎		◎	◎	◎	◎									
キノンドーFL	有機銅	M1		45	*o	◎			◎									◎		
ドキリンFL	有機銅	M1		45	*o	◎			◎									◎		
ヨネポン乳	有機銅	M1		*n	1				◎		◎									
アリエッティ水	有機リン	P7		30	3	◎														
オーソサイド水80	他	M4		30	3	◎	◎	◎	◎		◎							◎		
オラクル顆水	他	21		14	3	◎														
カナメFL	他	7	劇	1	3		◎	◎	◎			◎				◎				
ケンジャFL	他	7		7	3		◎	◎	◎							◎				
セイビアーFL20	他	12		21	3		◎				◎						◎			
デランFL	他	M9	劇	*c	2	◎			◎		◎							◎		
バスポート顆水	他	M5		*d	1				◎		◎									
バレード15FL	他	7		7	2		◎	◎	◎			◎								
フェスティバル水	他	40		45	2	小														
フジワン粒	他	6		*e	1								◎							
プロパティFL	他	50		3	3											◎				
フロンサイドSC	他	29		*a	1	◎	◎		◎		◎							◎		
ベフラン液25	他	M7	劇	*d	1			◎	◎		◎				◎				◎	
ライメイFL	他	21		14	3	◎														
ランマンFL	他	21		14	3	◎														
スイッチ顆水	A P・他	9・12		30	2		◎				◎									
オルフィンプラスFL	DM I・アミド	3・7		14	3		◎				◎					◎				
テーク水	DM I・有機硫黄	3・M3		45	2	◎	◎		◎		◎					◎				
ナリアWDG	Q o I・アミド	11・7		7	3						大									
ジャストフィットFL	アミド・他	43・40		30	3	◎														
フオリオゴールドFL	アミド・他	4・M5		60	2	◎														

ブ  
ド  
ウ

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	べ 灰 色 と か び	褐 斑 病	黒 と 腐 病	苦 腐 病	晩 腐 病	さ び 病	芽 枯 病	白 紋 羽 割 病	つ ど ん こ 病	白 腐 病	枝 膨 点 病	す す 点 病	ゆ 合 促 進
ゲッター水	ベンゾイミダゾール・ベンゾイミダゾール	10・1		45	1	◎												
ラビライト水	ベンゾイミダゾール・有機硫黄	1・M3	*c		1					◎								
リドミルゴールドMZ顆水	有機硫黄・アミド	M3・4		45	2	◎												
ホームイコート水	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1	*d		1			◎	◎				◎			◎		
ホライズンDF	他・Q o I	27・11		21	3	◎	◎	◎	◎									
ポリベリン水	他・抗生物質	M7・19		60	2	◎	◎	◎	◎						◎			
フェスティバルC水	他・無機	40・M1		45	2	小												
カーゼートPZ水	他・有機硫黄	27・M3		45	2	◎												
カンパネラ水 ベネセット水	他・有機硫黄	40・M3		45	2	◎		◎	◎									
ゾーバックエニベル顆水	他・有機硫黄	49・M3		45	2	◎			◎									
フェスティバルM水	他・有機硫黄	40・M3		45	2	◎												
ビオネクトFL	他・有機銅	ー・M1	*k	45	*o	◎		◎	◎				◎			◎		
アリエッティC水	他・有機リン	M4・P7		30	3	◎	◎	◎	◎									
ザンプロDMFL	他・他	45・40		45	2	小												
ダイナモ顆水	他・他	21・27		21	3	◎												
ダイパワー水	他・他	M7・M4		60	2	◎		◎	◎									
ドーシャスFL	他・他	21・M5		60	3	◎		◎	◎									
ベトファイター顆水	他・他	27・40		30	3	◎												

\*a:開花直前～落弁期(但し収穫60日前まで) \*b:休眠期(萌芽前)  
 \*c:落弁期まで(但し収穫75日前まで) \*d:休眠期 \*e:萌芽期まで  
 \*h:開花期～幼果期(但し収穫60日前まで) \*i:発病前～発病初期 \*k:休眠期～開花前  
 \*L:剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後  
 \*n:萌芽前 \*o:4回以内(但し開花後は1回以内)  
 小:小粒種(デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう)  
 大:大粒種(巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種他)

ブ  
ド  
ウ

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ブ ド ウ 種 別	ア ザ ミ ウ マ シ 類	ア ブ ラ ム シ 類	フ タ テ ン ヒ メ ヨ コ バ イ 類	ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	コ ウ モ リ ガ 類	ス カ シ バ 類	ハ ド ウ ト リ バ 類	ハ マ モ ン ヨ ト ウ 類	ケ ム シ 類	キ ン ケ ク チ ブ ト ゾ ウ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	サ ビ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫	
																								殺ダニ
コロマイト水	マコロイト <sup>®</sup>	6		7	2																		◎	
サンクリスタル乳	天然物由来	—		1	—																		◎	
クムラス顆水	無機	UN		*c	—																		ハ	
アブロードFL	I G R	16		30	2				幼	幼														
カスケード乳	I G R	15		30	2										◎									
ロムダンFL	I G R	18		1	2												◎							
オリオン水40	カーバメート	1A	劇	45	1					◎							◎							
オマイト水	殺ダニ	12C		14 21	1 1	大 小																	カ カ	
カネマイトFL	殺ダニ	20B		14	1																		◎	
サンマイト水	殺ダニ	21A	劇	90	1		チ		◎														◎	
スターマイトFL	殺ダニ	25A		14	1																		◎	
ダニゲッターFL	殺ダニ	23		*f	1																		◎	
ダニコングFL	殺ダニ	25B		1	1																		◎	ヒ
ダニサラバFL	殺ダニ	25A		1	2																		◎	ヒ
ダニトロンFL	殺ダニ	21A		30	1																		◎	サ
バロックFL	殺ダニ	10B		7	1																		◎	
ピラニカ水	殺ダニ	21A	劇	30	1	大																	◎	
ニッソラン水	殺ダニ	10A		7	1																		◎	
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		21	1																		◎	サ
モベントFL	殺ダニ	23		7	3		◎			◎													◎	サ
エクシレルSE	ジアミト <sup>®</sup>	28		1	3		◎							ビ	◎		◎		◎					
サムコルFL10	ジアミト <sup>®</sup>	28		1	3									ビ			◎							モ
テッパン液	ジアミト <sup>®</sup>	28		1	2		チ				◎			ビ			◎		◎					
フェニックスFL	ジアミト <sup>®</sup>	28		14 *g	2 1									◎	◎	◎	◎							ホ
ヨーバルFL	ジアミト <sup>®</sup>	28		7	2		チ										◎		◎					モ
ディアナWDG	スレノシ	5		1	2		◎								◎	◎								
アクタラ顆溶	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A		7	2		チ	◎		◎														
アドマイヤー顆水	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A	劇	*h	2		◎	◎		◎														
アルバリン顆溶	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A		1	3		チ	◎		◎														ブ
スタークル顆溶	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A		*e	1					◎				ビ										
ダントツ溶	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A		1	3		チ	◎		◎													◎	ブ
バリアード顆水	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A	劇	21	2		チ	◎		◎														
ベストガード溶	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A		30	3		◎	◎		◎														
モスピラン顆溶	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A	劇	14 *a	3		◎	◎		◎	ツ												成	ト
モスピラン粒	ネコチノイト <sup>®</sup>	4A		14	3			ネ															ブ	
パダンSG溶	ネリストキン	14	劇	21	5	大	チ	◎						◎										
アーデントFL	ピレスロイト <sup>®</sup>	3A		1	4		◎	◎															◎	
アグロスリン水	ピレスロイト <sup>®</sup>	3A	劇	21	5		チ	◎		◎													◎	
アディオオンFL	ピレスロイト <sup>®</sup>	3A		7	5	大	チ	◎		◎													◎	
アディオオン水	ピレスロイト <sup>®</sup>	3A		7	5		チ	◎		◎													◎	

ブ  
ド  
ウ

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア	ア	フ	ミ	カ	コ	ス	ハ	ケ	キ	カ	ハ	ソ
						ザ	ブ	タ	ド	イ	ウ	カ	コ	ス	ハ	ケ	キ	カ
						ラ	テ	タ	リ	メ	ウ	カ	ド	ス	モ	キ	ム	シ
スカウトFL	ビレスロイト*	3A	劇	7	3	チ	◎								◎			
テルスターFL	ビレスロイト*	3A	劇	14	1	チ												
テルスター水	ビレスロイト*	3A		14	1	チ												
パイソロイドEW	ビレスロイト*	3A	劇	7	2	大	チ									◎		
ベニカカリムエアゾール ロビンフッド	ビレスロイト*	3A		1	5						◎◎						◎	
ロディー水	ビレスロイト*	3A	劇	21	2	チ												
サッチューコートS 乳	有機リン	1B		*b	2													ラ
スブラサイド水	有機リン	1B	劇	14	2	チ			◎									
				90		ネ												
スミチオン水40	有機リン	1B		21	2	大		◎	ク		ス					成	ブ	ア
				90	2	小		◎	ク		ス					成	ブ	ア
スミチオン乳	有機リン	1B		21	2	大		◎◎	ク		ス	◎		◎	成	成	ブ	
				90	2	小		◎◎	ク		ス	◎		◎	成	成	ブ	
ダイアジノン水34	有機リン	1B	劇	30	2	大		◎	◎	ク				◎				
マラソン乳	有機リン	1B		7	6			◎		◎						成		◎
ウララDF	他	29		*d	2	チ												
コテツFL	他	13	劇	60	2	ミ		◎					◎◎		◎			ナ
コルト顆水*	他	9B		1	3	チ				◎	ツ							ノ
トランスフォームFL	他	4C		14	3						◎							
トラサイドA乳	有機リン・有 機リン	1B・ 1B		*c	2													ブ
アブロードエースFL	殺ダニ・ IGR	21A ・16		30	1				◎									ハ

\*:幼果期以降に使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意する。  
 \*a:収穫後後期 \*b:収穫後(10月)～萌芽前 \*c:発芽前(休眠期) \*d:開花前まで  
 \*e:幼果期まで(但し収穫30日前まで) \*f:果実肥大期(大豆大期)～収穫前日 \*g:開花期まで  
 \*h:収穫21日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

ア:アカガネサルハムシ カ:カンザワハダニ  
 ク:クワコナカイガラムシ く:クワコナカイガラムシ若齢幼虫  
 コ:コナカイガラムシ類 サ:ブドウサビダニ さ:ブドウサビダニ及びブドウハモグリダニ  
 ス:ブドウスカシバ チ:チャノキイロアザミウマ ツ:ツマグロアオカシカメ  
 ト:トビイロトラガ ナ:ナミハダニ及びカンザワハダニ  
 ネ:ブドウネアブラムシ ノ:ミノガ類、モンキクロノメイガ及びトビイロイラガ  
 ハ:ブドウハモグリダニ ヒ:ブドウヒメハダニ ビ:クビアカスカシバ  
 プ:ブドウトラカミキリ ホ:ミノガ類、ホソオビツチイロノメイガ及びモンキクロノメイガ  
 ミ:ミカンキイロアザミウマ及びチャノキイロアザミウマ メ:アメリカシロヒトリ  
 モ:モンキクロノメイガ も:チャノコカクモンハマキ ラ:トラカミキリムシ

小:小粒種(デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう)  
 大:大粒種(巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種他)  
 幼:幼虫 成:成虫

## ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病		<ul style="list-style-type: none"> <li>・落葉は集め処分する。</li> </ul>	春と秋にしやすい。 ヨーロッパ系の品種は発病しやすい。 前年発生した園は開花前から予防散布する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	4月下旬～9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>アリエッティC水和剤 400～800倍</li> <li>ジマンダイセン水和剤 1000倍</li> <li>ホライズンドライフロアブル● 2500～5000倍</li> <li>ランマンフロアブル● 1000～2000倍</li> <li>リドミルゴールド MZ顆粒水和剤● 1000倍</li> </ul>	
灰色かび病	5月中旬(開花直前)～6月下旬(開花直後)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 発病花穂は除去する。</li> <li>2. 次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>ゲッター水和剤● 1000～1500倍</li> <li>ストロビードライフロアブル 2000～3000倍</li> <li>ポリベリン水和剤 750～1500倍</li> <li>ロブラール水和剤● 1000～1500倍</li> </ul>	裂果しやすい品種に発病が多い。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
褐斑病	休眠期	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 落葉は集め処分する。</li> <li>2. 次の薬剤を散布する。</li> <li>ベフラン液剤25 250倍</li> </ul>	5月頃雨が多いと多発する。デラウェア、キャンベル・アーリーなどの品種は弱い。
	5月上旬～中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>トップジンM水和剤 1000～2000倍</li> <li>アミスター10フロアブル 1000倍</li> </ul>	
黒とう病	休眠期(発芽前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 枝、まきひげは除去する。</li> <li>2. 発病新梢は除去する。</li> <li>3. 次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>デランフロアブル 200倍</li> <li>ベフラン液剤25 250倍</li> <li>ベンレート水和剤● 200～500倍</li> </ul>	春先天候不順の年に発生多い。 一般にヨーロッパ系の品種が弱く、アメリカ系の品種は強い。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	5月上旬～6月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>アミスター10フロアブル 1000倍</li> <li>アリエッティC水和剤 400～800倍</li> <li>ジマンダイセン水和剤 1000倍</li> <li>オーシャイン水和剤● 2000～3000倍</li> <li>マネージDF● 4000～6000倍</li> <li>ロブラール水和剤● 1000倍</li> </ul>	

## ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
晩腐病	休眠期	<ol style="list-style-type: none"> <li>枝、まきひげは除去する。</li> <li>発病新梢は除去する。</li> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。 ベフラン液剤25 250～500倍 パスポート顆粒水和剤 250～400倍</li> </ol>	<p>6月下旬から収穫期 にかけ雨が 多い年に多 発する。</p> <p>幼果期以降の散布は 果実の汚れに注意す る。</p> <p>●耐性菌を生じやすい ので連用しない。</p>
	6月上旬～ 9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 アリエッティC水和剤 400～600倍 ストロビードライフロアブル 2000～3000倍 トップジンM水和剤● 1000倍 ベンレート水和剤● 2000～3000倍</li> </ul>	
さび病		<ol style="list-style-type: none"> <li>落葉は集め処分する。</li> <li>発生園は冬期中に中耕する。</li> </ol>	<p>梅雨あけから晴天が 続くと発生しやすい。</p> <p>●耐性菌を生じやすい ので連用しない。</p>
	6月上旬～ 9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。 バシタック水和剤75 1000倍 ストロビードライフロアブル 3000倍 マネージDF● 4000～6000倍</li> </ul>	
うどんこ病	新梢伸長期 以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。 トリフミン水和剤● 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 ポリベリン水和剤 750～2000倍</li> </ul>	<p>春と秋に発生しやす い。</p> <p>●耐性菌を生じやすい ので連用しない。</p>
アブラムシ 類		<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤#1 1000～2000倍 ダイアジノン水和剤34#2 1000～1500倍</li> </ul>	<p>#1大粒種と小粒種では 使用時期が異なるので 注意すること。 #2大粒種のみ</p>
ブドウネア ブラムシ	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>抵抗性台木による接木栽培を行 う。</li> <li>次の薬剤のいずれかを散布もしく は土壌灌注する。 スプラサイド水和剤(土壌灌注) 500倍(10ℓ/m<sup>2</sup>) モスピラン粒剤(散布) # 30g/m<sup>2</sup> (6kg/10a以下)</li> </ol>	<p># 樹冠下または主幹周 辺に散布する。</p>

ブ  
ド  
ウ

## ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
フタテンヒメヨコバイ	5月下旬 (開花前)・ 6月上旬 (落弁後)	1. 不要な副梢を摘み取り、園の通風と採光をよくする。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン水和剤 1000～2000倍 サンマイト水和剤 1000倍 スミチオン水和剤40#1 800～1000倍 バダンSG水溶剤#2 1500倍 ベストガード水溶剤 1000倍	#1大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意する。 #2大粒種のみ
カイガラムシ類	3月中旬 (発芽前)	・ 次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤* 7～10倍	* 落葉果樹での登録商品により登録が異なるので注意。
クワコナカイガラムシ	5月上旬 (開花前)	・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 スプラサイド水和剤#1 1500倍 スミチオン水和剤40#2 800～1200倍 ダイアジノン水和剤34#3 1000～1500倍	#1カイガラムシ類での登録 #2大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 #3大粒種のみ、若齢幼虫に適用。
チャノキイロアザミウマ	6月上旬～ 下旬	1. 発生源となるので不要な副梢は早めに剪定する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオフロアブル#1 1000～2000倍 アドマイヤー顆粒水和剤#2*a 5000～10000倍 コテツフロアブル 2000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤#2 2000～4000倍 ロディー水和剤 2000倍 モベントフロアブル#2 2000倍	チャヤイヌマキなどが寄主植物である。 開花前および落弁後約1か月間の防除が重要。 #1大粒種のみ #2アザミウマ類での登録 *a露地栽培については発芽期から開花期を除く
アメリカシロヒトリ	生育期	1. 若齢幼虫期には、巣網を作って集団にいるので枝ごと処分する。 2. 幼虫発生期に次の薬剤を散布する。 アディオン水和剤 2000倍	幼虫は5月下旬～6月下旬と8月中旬～9月中旬の年2回発生する。

ブ  
ド  
ウ



## ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
コガネムシ類	7月上旬	<p>1. 成虫の活動が鈍い早朝に棚を揺すって落下した成虫を捕殺する。</p> <p>2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アディオンフロアブル#1 1500倍                      エクシレルSE 5000倍                      スミチオン水和剤40#2 800～1000倍                      モスピラン顆粒水溶剤#3 2000～4000倍</p>	<p>#1大粒種のみ</p> <p>#2成虫での登録</p> <p>大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。</p> <p>#3成虫での登録</p>
ブドウトラカミキリ	10月下旬～3月中旬(休眠期)	<p>・ 次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>トラサイドA乳剤 200～300倍</p>	<p>山林に接した園で発生が多い。</p>
	10月上旬(成虫発生終期)	<p>1. 剪定枝を放置すると発生源となるので処分する。食入痕を見つけたら幼虫を刺殺する。</p> <p>2. 次の薬剤を散布する。</p> <p>スミチオン水和剤40# 800～1000倍</p>	<p>#大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。</p>
ハダニ類	生育期	<p>1. 発生源となるので下草管理を徹底する。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アーデントフロアブル 2000倍                      サンマイト水和剤 1000～1500倍                      ダニトロンフロアブル 1000～2000倍                      バロックフロアブル 2000倍                      マイトコーネフロアブル 1000～1500倍                      モベントフロアブル 2000倍</p>	<p>薬剤抵抗性がつきやすいので同一薬剤の連用をしない。</p>
その他の害虫		コウモリガ、ブドウハモグリダニ(毛せん病)、果実吸蛾類	